

佐賀県感染症発生動向調査速報

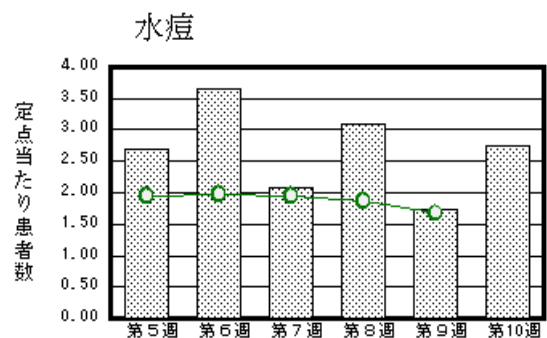
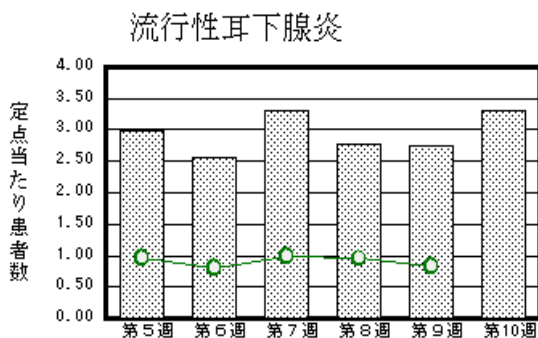
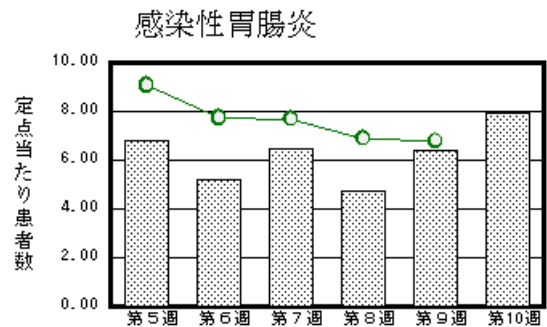
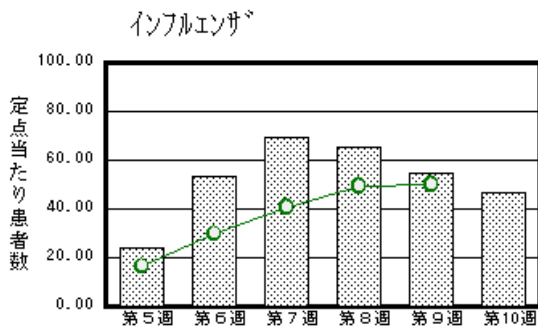
平成17年第10週 平成17年3月7日(月)～平成17年3月13日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 1 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(1630名) 感染性胃腸炎(183名) 流行性耳下腺炎(76名)
水痘(63名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(45名)
- 2 【インフルエンザ】患者報告数が減少しました(1913→1630名)が、過去5年間の同時期と比較して多くなっています。病原体定点より2月28日に採取された検体からインフルエンザウイルスB型3検体が検出されています。十分な休養やバランスのよい食事等で体力や抵抗力を高め、手洗い、うがい等一般的な感染予防に努めましょう
- 3 【感染性胃腸炎】患者報告数が増加しました(148→183名)。3月3日～3月10日に病原体定点より提出された検体11検体中9検体からロタウイルスが検出されました。



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2005年第8週号 (2月21日～2月27日) 要点

・ 発生動向総覧	<第8週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	<インフルエンザ> 第8週の全国レベルの定点当たり報告数は49.2で、第3週以降大幅な増加が続いている
・ 病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン
・ 速報	初の「サル」の細菌性赤痢の届出 - 茨城県 / 腸チフス2004年 (2005年2月16日時点) / 2004/05シーズンのB型インフルエンザウイルス分離状況 - 札幌市
・ 海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
・ 感染症の話	<インフルエンザ> 「一般のかぜ症候群」とは分けて考えるべき「重くなく、やすい疾患」であり、いまだ人類に残されている最大級の疫病である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

佐賀県感染症情報センター

http://www.kansen.pref.saga.jp

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

インフルエンザ様疾患学年(級)閉鎖状況

施設名	学年 級	措置等
白石町立有明南小学校	2年	3/8-9 学年閉鎖

上記については平成17年3月9日記者発表済み

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成17年第10週 平成17年3月7日(月)~平成17年3月13日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第9週)	
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	540 41.54	313 62.60	311 103.67	127 25.40	339 37.67	1630 46.57	1913 54.66	235343 50.00	
小児科 (23)	RSウイルス 感染症							1 0.04	79	
	咽頭結膜熱				2 0.67		2 0.09	2 0.09	496 0.16	
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	12 1.50	20 6.67	2 0.50		11 2.20	45 1.96	42 1.83	4187 1.37	
	感染性胃腸炎	45 5.63	59 19.67	45 11.25	13 4.33	21 4.20	183 7.96	148 6.43	20652 6.77	
	水痘	31 3.88	5 1.67	20 5.00	1 0.33	6 1.20	63 2.74	40 1.74	5089 1.67	
	手足口病		4 1.33				2 0.40	6 0.26	448 0.15	
	伝染性紅斑	3 0.38	8 2.67	5 1.25	2 0.67		18 0.78	24 1.04	629 0.21	
	突発性発しん	10 1.25	2 0.67	8 2.00			2 0.40	22 0.96	1603 0.53	
	百日咳								9 0.00	
	風しん								16 0.01	
	ヘルパンギーナ								3 0.13	113 0.04
	麻しん (成人 麻しんを除く)									13 0.00
	流行性耳下腺炎	17 2.13	23 7.67	6 1.50	27 9.00	3 0.60	76 3.30	63 2.74	2536 0.83	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								19 0.03	
	流行性角結膜炎								434 0.68	
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								6 0.01	
	無菌性髄膜炎								11 0.02	
	マイコプラズマ肺炎	3 1.50	1 1.00	1 0.50			5 0.71	5 0.71	120 0.26	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								5 0.01	
	成人麻しん									

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は8週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成17年第10週 平成17年3月7日(月)~平成17年3月13日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	4	6ヶ月未満				4	1			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	31	12ヶ月未満			1	32	7		1	18					5	12ヶ月未満								
1歳	106	1歳		1	2	37	15	3		3					2	1歳					1			
2歳	119	2歳			5	14	16	2	2						7	2歳					1			
3歳	131	3歳			4	22	7	1	1						10	3歳					1			
4歳	152	4歳		1	9	17	6		2						11	4歳								
5歳	120	5歳			7	8	4		2						13	5歳					1			
6歳	121	6歳			4	9	1		2						10	6歳								
7歳	98	7歳			3	13	2		3						11	7歳								
8歳	110	8歳			3	4	1		3						1	8歳								
9歳	84	9歳			5	4	1		1						4	9歳								
10歳~14歳	168	10歳~14歳			2	10	2		1						1	10歳~14歳					1			
15歳~19歳	14	15歳~19歳				1										15歳~19歳								
20歳~29歳	71	20歳以上				8									1	20歳~29歳								
30歳~39歳	117															30歳~39歳								
40歳~49歳	74															40歳~49歳								
50歳~59歳	54															50歳~59歳								
60歳~69歳	23															60歳~69歳								
70歳~79歳	16															70歳以上								
80歳以上	17																							
合計	1630	合計		2	45	183	63	6	18	22					76	合計					5			
前期計	1913	前期計	1	2	42	148	40	6	24	28			3		63	前期計					5			
当期間/前	0.85	当期間/前		1	1.07	1.24	1.57	1	0.75	0.79	***	***	***	1.21	当期間/前	***	***	***	***	1	***	***		
増減数	-283	増減数	-1		3	35	23		-6	-6			-3		13	増減数								

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

